

平成26年度 第5学年東京都学力調査結果報告(7月3日実施)

国語		平均正答率		(調査結果を踏まえた 指導改善の方策)	
		大北小	東京都		
教科の内容	関心・意欲・態度	91	95	平均正答率は、東京都と比べると「書く力」を除いて下回っています。特に、「読み取る力」や「解決する力」については他の項目と比べても低い傾向が見られます。 相手に聞きとってもらえるような話し方や大事なことを落とさずに聞く力、内容を正しく読み取る力を育てていくことに重点を置いた指導の充実をさらに図っていきます。また、基礎的な学習を重視し、漢字や言語について繰り返し練習し、定着を図っていきます。	
	話す・聞く	75.9	77.3		
	書く	69.8	66.2		
	言語	74.9	79.2		
	読む	69.1	71.3		
読み解く力に関する内容	取り出す力	81.1	86.3		
	読み取る力	24.3	30.9		
	解決する力	38.7	40.7		
	教科合計	71.6	74.4		
社会					
教科の内容	関心・意欲・態度	89.6	87.6	平均正答率が東京都と比べると、「知識・理解」「取り出す力」「解決する力」で下回っている傾向にあります。教科の内容としては、「知識・理解」では下回っているものの、その他では、東京都の平均を上回っています。 資料を活用したり、表やグラフから読み取ったことを活用する力を育ていくとともに、その中で基礎的・基本的な内容や用語をおさえながら、理解を確かなものにしていく指導の充実をさらに図っていきます。	
	思考・判断・表現	70.1	68.9		
	技能	77.5	75.5		
	知識・理解	70.2	76.6		
読み解く力に関する内容	取り出す力	62.2	64.4		
	読み取る力	46.8	45.8		
	解決する力	47.7	51		
	教科合計	68.6	70.5		
算数					
教科の内容	関心・意欲・態度	82.4	89.4		平均正答率は、東京都と比べると全ての項目で下回っており、「技能」「思考・判断・表現」では大きく下回っています。課題解決場面では、既習事項と関連付け、振り返りを行ったり、繰り返し練習を取り入れたりするなど、基礎基本の定着を図ります。また、用具操作を取り入れたり、様々な考えを出し合ったりすることに重点を置いた指導を行うなど、少人数指導・習熟度別指導を通して、指導の充実をさらに図っていきます。
	思考・判断・表現	57.1	65.4		
	技能	62.3	71.5		
	知識・理解	51.8	58.6		
読み解く力に関する内容	取り出す力	79.7	83.9		
	読み取る力	34.8	38.5		
	解決する力	30.2	34.3		
	教科合計	55.1	62		
理科					
教科の内容	関心・意欲・態度	91.1	91	平均正答率は、東京都と比べると「関心・意欲・態度」「解決する力」を除いて下回っています。特に、「知識・理解」については他に比べても低い傾向が見られます。 実験や観察などの体験を通して、結果からわかったことをまとめる力を育てていくとともに、予想と結果を比べたり、分かったことを確認したりすることで、理解をより深めていくことに重点を置いた指導の充実をさらに図っていきます。	
	思考・判断・表現	56	58.3		
	技能	69.2	70.4		
	知識・理解	58.3	67.4		
読み解く力に関する内容	取り出す力	69.4	72.1		
	読み取る力	47.3	51.3		
	解決する力	50.9	48.9		
	教科合計	62.2	65.6		